

令和 6 年度

運営に関する計画・自己評価（最終評価）



令和 7 年 3 月

大阪市立塩草立葉小学校

## 1 学校運営の中期目標

### 現状と課題

本校は、学校教育目標「共に学び、共に生きる子どもを育てる」～自分も人も大切にする～のもと、人権尊重を基盤とした教育活動を推進している。

統合から11年目。児童数は、統合時の241名から528名に急増している。中規模校になるにともない、さまざまな業務の見直しを進めていく必要がある。

また、増加している外国人児童や特別支援学級在籍児童への支援、多様性教育推進などを通じて、すべての子どもが健やかに成長するよう、全教育活動を通して取り組んでいる。

### 中期目標（令和4年度から令和7年度までの4年間で達成をめざす成果目標）

#### 【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】

①大阪市小学校学力経年調査（3～6年、以下 経年調査）における「いじめは、どんな理由があってもいいことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を73%以上にする。

→R4は、74.8%。R5は、73.3%。R6は、69.0%

②大阪市小学校学力経年調査（3～6年、以下 経年調査）における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。

→R4は、78.6%。R5は、77.6%。R6は、76.6%

#### 【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

①大阪市小学校学力調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。

（令和4年度の対全国比→令和5年度→令和6年度） 現在の

算数	現6年	0.98→0.97→1.06
	現4年	1.00→0.92→1.08

現5年	0.98→0.95→0.98
現3年	なし→なし→0.99

②大阪市小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する割合を65%以上にする。

→R4は、68.9%。R5は、62.6%。R6は、68.2%

#### 【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】

①授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。〔事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕

→今年度初めての目標設定。

R6は達成できなかったが、活用率は、昨年度を上回っている。

②教員ひとり当たりの月別の時間外勤務時間平均を大阪市平均より減少させる。

→R4、R5とも大阪市平均を下回り、達成した。

R6も大阪市平均を下回っており、目標を達成した。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### 【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】

①大阪市小学校学力経年調査（3～6年、以下 経年調査）における「いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を73%以上にする。

※R5は、73.3%。R6は、69.0%

②大阪市小学校学力経年調査（3～6年、以下 経年調査）における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。

※R5は、77.6%。R6は、76.6%

### 【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

①大阪市小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。

※どの学年も前年度より向上した。4年生は、0.1ポイント以上。

②大阪市小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する割合を65%以上にする。

※R6は、68.2%

### 【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】

①授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。〔事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕

※R6は達成できなかった。活用率は、昨年度を上回っている。

②教員ひとり当たりの月別の時間外勤務時間平均を大阪市平均より減少させる。

※R6も大阪市平均を下回っており、目標を達成した。

## 3 本年度の自己評価結果の総括

本校の教育目標「ともに学び、ともに生きる子どもを育てる」のもと、人権教育を基盤としたさまざまな教育活動に取り組んできた。また、4月の全国学力・学習状況調査（6年）や大阪府新学力テスト（5、6年）、6月の全国体力・運動能力、運動習慣等調査（5年）、12月の大坂市小学校学力経年調査（3年～6年）、学校評価児童アンケート、保護者アンケートなどから、3つの最重要目標について一定の成果がみられる。

今後も、家庭や地域の協力をえながら、基礎学力の定着および健康の増進、体力の向上をすすめていく。また、人権教育を根幹に据えて、増加する外国人児童への支援、特別支援教育、多様性教育を推進していく。

令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

大阪市立塩草立葉小学校

評価基準 A：目標を上回って達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった	B：目標どおりに達成した D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
---	--

年度目標	達成状況
<b>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</b> ①大阪市小学校学力経年調査（3～6年、以下 経年調査）における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を73%以上にする。	B
②大阪市小学校学力経年調査（3～6年、以下 経年調査）における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 ○いじめの未然防止と早期発見、早期対応をすすめる。	
指標 ・5月「いじめ（いのち）について考える日」に、全学級でいじめ防止に取り組む。 ・いじめ事象を共有し、解決に向けて組織的に取り組む。 ・学期に1回以上、全学級でいじめについて実態調査を行い、早期発見に努める。	B
取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】 ○自分や友だちの良さを認め合う取り組みを通して、自尊感情を高める。	
指標 ・児童会のたてわり班活動や委員会活動で交流を工夫する。 ・自分や友だちの良さに気づき、一人一人を大切にする人権教育を充実させる。	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
取組内容① ・全学級で「いじめ・いのちについて考える日」の学習を行い、いじめは許さないという雰囲気を醸成することができた。 ・「いじめ・いのちについて考える日」やいじめアンケートだけではなく、学級活動や道徳の時間などで、日常的にいじめ防止やいじめについて考える機会をつくって取り組んでいる。 ・全教職員で児童の様子を情報共有し、「いじめ」や「いじめにつながりそうな事象」を早期発見する環境を整えている。教職員全体で子どもを見守り、児童の人間関係にも着目し、小さな変化にも気づくことで、未然に防いだり、解決に結びつけたりすることができた。 ・いじめアンケートにおいて「いじめがある」と答えた児童からていねいに聞き取り、早期発見・いじめ予防対策を行うことや、ふだん声を上げない児童の声を聞くことができた。 ・いじめ事案がいくつかあったが、学年・学校で組織的に取り組み、解決することができた。 ・LINEなど教職員の見えないところでいろいろな動きがあり、その度合いは高まっている。

## 取組内容②

- ・集会委員会による2週に1回の定期的な児童集会や、児童会による「つながりタイム」など他学年児童との交流の機会があり、多様な人々を大切にしようとする態度が養われている。下の学年の児童が6年生に感謝の手紙を贈る姿が見られた。
- ・児童会活動を計画的に行い、上級生は下級生に対してていねいにサポートする大切さを学ぶ機会を作ることができた。
- ・子ども間でまだまだ「死ね」などの言葉がたくさん飛びかっており、継続的な指導が必要。
- ・なかよしタイムやなかよしの抽出授業など異学年交流で様々な良さを認め合う時間を設けた。
- ・人権目標である「自分も人も大切にする」を基に、各学年の実態に合わせた人権教育を取り組んできた。
- ・いいところみつけなど、互いを認め合えるような学級活動に取り組むことで、苦手なことをサポートしていたり、友だちの良さに気づいてほめたりしている場面がよく見られた。

## 次年度への改善点

## 取組内容①

- ・今後も継続的、組織的にいじめの早期発見・解決に取り組む。
- ・高学年が低学年の模範となり、高学年の意識を変えていくねらいで、たてわり活動を活用して「いじめ・いのちについて考える」時間を設ける。
- ・「いじめ・いのちについて考える日」で学年ごとに系統立てて組んでいく。
- ・「いじめはどんな理由があってもいいこと」という意識づけが高学年ほど必要である。
- ・「いじめ」と「抗議」の違いをロールプレイなどで児童に理解できるようにする必要がある。
- ・いじめ対応の研修会を行う。

## 取組内容②

- ・今後も計画的にたてわり活動を実施していく。
- ・遅刻や全体への指示の通りにくさ、集会の雰囲気、交流を深める方法、時間の少なさなどたてわり活動の改善が必要である。
- ・お互いの良さを認め合ったり、自尊感情を高めたり、自分自身の人権について考えたりする取り組みを継続する。
- ・国際理解教育の機会を系統立てて設定することで、さらに学級・学年で接する友だちへの理解が深まると思う。
- ・リーダーシップ、フォロワーシップをさらに育てていく。
- ・児童数の増加への対応が必要である。

令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

大阪市立塩草立葉小学校

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b> ①大阪市小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。 ②大阪市小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を65%以上にする。	B
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容① <b>【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</b> ○自分の思いや考えを表現する子どもを育てる。 ○教員の指導力向上をすすめる。	
指標 ・全学級で、話し合い活動を1日1回以上実施する。 ・全学級で、週に1回算数の朝学習に取り組む。 ・3～6年生において、年1単元以上総合的読解力育成カリキュラムに取り組む。 ・全教員が、年1回以上公開授業を行う。 ・区役所の教育活動支援事業を活用する。 日本語サポーター、液晶ディスプレイ、漢字検定3年（目標合格率65%）	B
取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】 ○運動に親しむ機会を設ける。	
指標 ・体力向上に関する取り組みを行う。（シナプソロジーなど） ・外部講師による特別授業を行う。（「夢・授業」や出前授業など）	B
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
取組内容① ・各教科で児童の実態に応じた話し合い活動を取り組むことにより、自分の思いや考えを表現することができるようになってきた。 ・週1回算数の朝学習に継続して取り組んだ。 ・3～6年の各学年で、1単元以上の総合的読解力育成カリキュラムに取り組んだ。 ・研究授業や公開授業をはじめ、各研修を計画的に行うことで指導力向上につながっている。 ・3年生で漢字検定を行い、目標を達成した。（本校の合格率83.6%）	

取組内容②

- ・なわとびカードの取り組みがあったので、体を動かす機会が増えた。
- ・「夢・授業」（フットサル）を通して、スポーツに親しむことができた。
- ・放課後は多くの高学年が運動に親しんだ。

次年度への改善点

取組内容①

- ・継続して取り組む。
- ・教室用の大型液晶ディスプレイが不足しているので、購入を急ぐ。

取組内容②

- ・外部講師による特別授業を増やしたい。
- ・なわとびの取り組みを継続して行う。
- ・新たな取り組みも設ける。

令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

大阪市立塩草立葉小学校

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</b> ①授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。〔事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕 ②教員ひとり当たりの月別の時間外勤務時間平均を大阪市平均より減少させる。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】 ○学習者用端末に親しむ機会を設ける	
指標 ・デジタル教材の活用をすすめる。 ・朝学習でデジタルドリル（ナビマ）を活用する。	B
取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ○教員の過重労働を抑制する。	
指標 ・業務内容の改善、見直しを進める。 ・ゆとりの日を週1回設ける。	B
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

取組内容①  
 ・算数科の授業でナビマ、国語科で「Sky Menu」を活用した。  
 ・PCでナビマを宿題に活用した。  
 ・連絡帳の内容記入を行った。  
 ・調べ学習で利用した。  
 ・九九の学習アプリを活用した。  
 ・デジタル教科書のワークシートをタブレットに送って活用したのがとてもよかつた。

取組内容②  
 ・業務内容の削減や早く帰ることで伝達が不十分になることもあった。  
 ・行事の精査を行った。

## 次年度への改善点

### 取組内容①

- ・PCを家庭に持ち帰った際の家庭学習の工夫が必要。
- ・持ち帰りによって明らかになった運用上の課題を来年度に検討したい。  
→次年度の案件に入れる。
- ・ナビマの国語は書き込みに関する面が不十分で、子どもからも不評であった。
- ・家庭での充電の習慣化や扱い方の課題がある。  
→4月当初に各学級で周知。
- ・PCでゲームをしている児童や依存傾向のある児童へのアプローチが課題である。  
→情報モラル、情報リテラシーを系統立てて指導していく必要がある
- ・学校全体で遊びながら学習できるサイトを共有すると、子どもへ還元できるのではないか。

### 取組内容②

- ・校務分掌を明確化し、各学年主任、各部長が所属する。
- ・ゆとりの日以外に学校でしかできない仕事ができる時間を確保してもよいかかもしれない。
- ・継続していきたい。